

ファイナンシャル・アドバイザー協会 第1回研修分科会議事録

1. 開催日時 令和2年10月7日(水) 午前10時00分より午前11時15分まで
2. 開催方法 (Zoomによる) Web会議
3. 担当理事 主担当：太田智彦、副担当：吉永高士(全員WEB出席)
4. 研修分科会出席者 約30名(全員WEB出席)
5. 事務局 水野清司、出久根智子(全員WEB出席)

6. 研修分科会について

資料に基づき研修分科会の概要を太田理事より、研修コンテンツや対象、今後のスケジュール等については吉永理事より説明。

7. 協会主催カンファレンス開催について

2020年12月に協会主催でカンファレンスを開催する。コンテンツについては事前に取り纏めたコンテンツ案及び本日の第1回分科会の意見を踏まえ、太田理事、吉永理事に一任する。

- ・ 対象 : 会員、非会員
- ・ 開催方法 : オンラインセミナー又はハイブリッドセミナーのいずれか
- ・ 時間 : 3時間程度(5~6コンテンツ程度を予定)

8. 質疑応答

① (アイ・パートナーズ フィナンシャル 田中代表)

- ・ 研修を実施する場合は、受け手が研修の目的を理解できるよう動機付けが重要。
- ・ 外債の手数料について、IFAに商品を提供している委託証券会社は、外債や仕組債の手数料を実勢で示す必要がある。また、委託証券会社は、顧客が受け取る収益以上の手数料を収受してはならず、大手証券が行っているのと同様の対応を取るよう、協会から委託正会員等に働きかけてほしい。

(太田理事)

- ・ 動機付けが重要なことは共感。

(水野事務局長)

- ・ IFA ビジネスモデルの展望等のテーマで、委託証券会社によるパネルディスカッションをすることで、各社の足並みを揃えるきっかけとなることは期待できる。

② (財コンサルティング 稲葉代表)

- ・ 研修は、受講後即実践できる具体的な内容が良い。
- ・ 各社ビジネスモデルが異なることも考慮して研修内容を考えてほしい。

(水野事務局長)

- ・ ビジネスモデルやターゲットに合わせて研修内容を変える必要があると思う。分科会での意見を参考にしながら研修内容は決めていきたい。

③ (株式会社だいとく投資ビレッジ 山田代表)

- ・ 協会主催のカンファレンスは非会員も対象となるが、会員を闇雲に増やさないという方針を変更したのか？
- ・ 協会主催のカンファレンスのコンテンツ案は、他社主催のイベントと大きな差異がない。協会として特色のあるコンテンツを提供した方が差別化や会員増加につながるのでは。

(太田理事)

- ・ 会員を闇雲に増やさないという理念に変更はなく、審査基準の緩和等も考えていない。ただし裾野は広いと思うので、まずは法人アソシエイトになっていただき、協会活動に参加後、正会員になってもらうのも良いのではと考えている。

(水野事務局長)

- ・ 12月のカンファレンスは、IFAにとって現実的で参考になるものにしたと考えており、理論的な話や一般論ではなく具体的な内容を想定している。差別化を意識してコンテンツや講師は考えていきたいと思う。

(吉永理事)

- ・ 私自身は常に本業においても他の人が語れない情報を発信してきたつもりだし、協会のイベントで話す場合も他では聞けない話をする。他の方が話すコンテンツも含め中味の差別化は意識していく。